

(25期海上、水球責任者、個メ＋自由形長距離)

泳友会会員の皆様、そして本ウェブサイトを開覧されている皆様、日頃からの防衛大学校水泳部及び本会に対するご理解、ご支援に深く感謝いたします。

令和2年度から副会長を引き受けることになりました市川です。学生時代は個人メドレーと自由形長距離の「捨て駒」としてお茶を濁しつつ、水球にも首を突っ込み、4学年時には水球責任者を拝命しました。関東学生3部リーグでは試合前のジャンケンで「パー」で8連勝し、全試合「白7番」の帽子を着用。もちろんリーグ戦も全勝優勝し、見事に2部昇格。人生の「運」の大半を防大水球チームのために使い果たしてしまいました。時は流れて約30年後、長女が入部。親子二代の入部は、おそらく防大水泳部史上初のケースだと思います。

さて、泳友会は①会員相互の親睦と②防大水泳部の発展への寄与の二つを目的としています。

本ウェブサイトは、①の活動を推進するための強力な「ツール」の一つです。全国の駐屯地、基地、企業等で活躍している泳友会会員と出会い、語らい、少々の便宜を図る際に、是非ともご活用ください。併せて、防衛大学校サイト内の校友会・水泳部のページもお忘れなく。

また、②の活動として学生の試合遠征や合宿を支援するためには、何より「予算」の裏付けが必要です。事務局から各期の評議委員を通じて「年会費納入」の案内が来るはずで、退職OBだけではなくありません。現職自衛官のOBも泳友会の正会員ですよ。卒業時の入会金だけでなく、毎年の会費納入(振り込み)を忘れないよう、宜しくお願いします。

最後になりますが、泳友会の円滑かつ効率的な運営のために、多くの役員、事務局員がボランティアで働いています。例えば、本サイトは事務局の田代君(26陸)が苦勞しながら試行錯誤で開設し、管理人として維持運営に当たっています。役員会も頻繁に開催され、喧々諤々の議論の後は市ヶ谷の街に繰り出し、学生時代に帰って大いに懇親を深めています。しかしながら、世代交代が進んでいません。特に防衛関連企業に再就職された28期以降の会員の中で、防大水泳部・泳友会のために「ひと肌脱ごう」との覚悟を持った方は、事務局又は各期の評議委員にご一報ください。男氣溢れる会員からの積極的な申し出を、役員・事務局員一同、心からお待ちしています。

